

2024 年度 (対象年度 2021~2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 創造的リベラルアーツセンター

基準 2 内部質保証

I. 課題事項等への対応状況

直近の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No.	
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
過去にこの基準で「自己点検・評価シート」の課題事項を提出したことはない。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0201	内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。	自己評価	A
評価の視点	(3)大学全体規模や学部、研究科その他の組織（教職課程を実施する全学的組織を含む）における自己点検・評価をそれぞれ定期的実施し、その結果を活用して改善・向上に取り組んでいるか。 (4)学部、研究科その他の組織における自己点検・評価の客観性、妥当性を高めるために、学生の意見や外部の視点を取り入れるなどの工夫をしているか。 (5)行政機関、認証評価機関等から指摘事項があった場合、それに適切に対応しているか。			
現状説明	各授業担当者が、講義内容や学生の反応、さらには相互授業参観時の感想も述べあって、学生や授業担当者でない者の客観的意見を取り入れている[2-1 p.6][2-2 p.1 p.4]。			

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色	《箇条書き》
項目 No. 0201	相互授業参観を積極的にすすめ、その感想、さらには学生から得られた反応についても、随時報告し合い、授業の改善に各自が取り組んでいる [2-2 p.1 p.4]

2024 年度 (対象年度 2021~2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 創造的リベラルアーツセンター

基準 4 教育・学習 (4a)

I. 課題事項等への対応状況

直近の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0407	2名の教員による共同授業担当
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
2名の教員による共同授業の効果について、統計測定を検討したが、調査対象が不足して客観的データを得る条件が整わないことがわかったため、実施は取りやめた。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0402	学習成果の達成につながるよう各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していること。	自己評価	S
評価の視点	学習成果の達成につながるよう、授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成しているか。 ※ 具体的な例 ・各授業科目の位置づけ（主要授業科目の類別等）と到達目標の明確化。 ・学習の順次性に配慮した授業科目の年次・学期配当および学びの過程の可視化。 ・学生の学習時間の考慮とそれを踏まえた授業期間および単位の設定。			
現状説明	2024 年度正式開講するリベラルアーツ課題演習の授業は、ある程度専門性のある3、4年生に討論力をつけさせる授業科目である旨目標を設定し、正式開講に向けて継続的に準備を行なった[4a-1]。			

自己点検・評価項目	0403	課程修了時に求められる学習成果の達成のために適切な授業形態、方法をとっていること。また、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導や支援を十分に行っていること。	自己評価	S
評価の視点	(1) 授業形態、授業方法が教育研究上の目的や課程修了時に求める学習成果に応じたものであり、期待された効果が得られているか。 (2) ICT を利用した遠隔授業を提供する場合、自らの方針に沿って、適した授業科目に用いられているか。また、効果的な授業となるような工夫を講じ、期待された効果が得られているか。 (3) 授業の目的が効果的に達成できるよう、学生の多様性を踏まえた対応や学生に対する適切な指導等を行い、それによって学生が意欲的かつ効果的に学習できているか。			

	<p>※ 具体的な例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習状況に応じたクラス分けなど、学生の多様性への対応。 ・単位の実質化（単位制度の趣旨に沿った学習内容、学習時間の確保）を図る措置。 ・シラバスの作成と活用（学生が授業の内容や目的を理解し、効果的に学習を進めるために十分な内容であるか。）。 ・授業の履修に関する指導、学習の進捗等の状況や学生の学習の理解度・達成度の確認、授業外学習に資するフィードバック等などの措置。
現状説明	
ディスカッションやアクティブラーニングを取り入れた 21 世紀的リベラルアーツ授業を、シラバスに沿って展開した[4a-2]。	

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No. 0403	ディスカッションやアクティブラーニングを取り入れた 21 世紀的リベラルアーツ教育の展開[4a-2]

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0402	3、4 年生に限定した授業である点
今後の改善・向上方策	
今後は、1、2 年生向けに、リベラルアーツの基礎が学べる授業の開講を目指す。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	
0402	これまでリベラルアーツパイロット授業として実施されてきたが、2024 年度正式開講するリベラルアーツ課題演習が人文、社会、科学系に体系的に編成されており、今後の動向が期待される。そのためにも、受講した学生の意見感想や進路、学びに関する調査結果など、学生の動向についてもリベラルアーツ教育の検証としていくことが望まれる。
0402	2024 年度正式開講するリベラルアーツ課題演習の目標を、ある程度専門性のある 3、4 年生に討論力をつけさせることと設定し、継続的に準備を行なっている[4a-1]。
0402	1、2 年生向けにリベラルアーツの基礎が学べる授業の開講を目指している。
0403	リベラルアーツ授業にディスカッションやアクティブラーニングを取り入れ、教員と学生が対話・討論を通して学習を進め、学生評価アンケートにおいても魅力的な授業として評価され、学生が学習を意欲的かつ効果的に進めるための指導等が確認できる[P4a-1]。
長所・特色	
0403	リベラルアーツ授業にディスカッションやアクティブラーニングを取り入れ、教員と学生が対話・討論を通して学習を進め、学生評価アンケートにおいても魅力的な授業として評価された[P4a-1]。

2024 年度 (対象年度 2021~2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織	創造的リベラルアーツセンター
--------	----------------

基準 4	教育・学習 (4b)
------	------------

I. 課題事項等への対応状況

直近の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No.	
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
過去にこの基準で「自己点検・評価シート」の課題事項を提出したことはない。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0404	成績評価、単位認定を適切に行っていること。	自己評価	A
評価の視点	(1)成績評価および単位認定を客観的かつ厳格で、公正、公平に実施しているか。 (2)成績評価および単位認定にかかる基準・手続（学生からの不服申立への対応含む）を学生に明示しているか。 (3)既修得単位や実践的な能力を修得している者に対する単位の認定等を適切に行っているか。			
現状説明	シラバスに基準を定め、それに従って厳格公正に成績評価を行っている[4b-1]。			

自己点検・評価項目	0405	学生の学習成果を適切に把握および評価していること。	自己評価	S
評価の視点	(1)学習成果を把握・評価する目的や指標、方法等について考えを明確にしているか。 (2)学習成果を把握・評価する指標や方法は適切か。 (3)指標や方法を適切に用いて学習成果を把握・評価し、大学として設定する目的に応じた活用を図っているか。 <<学習成果の測定方法例>> ・アセスメント・テスト (GPS-Academic) ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査（学びに関する調査 等） ・卒業生、就職先への意見聴取			
現状説明	ルーブリックを用いてレポート評価をしている授業がある[4b-2]。			

自己点検・評価項目	0406	教育課程およびその内容、教育方法について定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	S
評価の視点	(1)教育課程およびその内容、教育方法に関する自己点検・評価の基準、体制、方法、プロセス、周期等を明確にしているか。 (2)課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況、資格試験の取得状況、進路状況等の情報を活用するなど、適切な情報に基づいているか。 (3)外部の視点や学生の意見を取り入れるなど、自己点検・評価の客観性を高めるための工夫を行っているか。 (4)自己点検・評価の結果を活用し、教育課程およびその内容、教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。			
現状説明	相互授業参観や情報交換を密に行い、教育方法について各自が改善・向上に取り組んでいる[4b-3]。			

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》
項目 No. 0406 相互授業参観、常時授業公開を行っている[4b-3]

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》
項目 No. 0405 ルーブリックの活用
今後の改善・向上方策
ルーブリックを用いたレポート評価を、他のリベラルアーツ関連授業にも広げ、できるだけ多くの授業が取り入れるようにする。

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評
0404 リベラルアーツパイロット授業が実施されてきているが、ルーブリックを活用しているところもあればない場合もあり、そうした場合の評価の公平性が担当者に影響することが懸念されるため、正規のリベラルアーツ課題演習では共通したルーブリックを使用した評価など、成績評価の公平性を説明できるように検討されることが望まれる。
0406 相互授業参観や情報交換を密に行い、教育方法について改善・向上に取り組んでいる点が評価できる。
長所・特色
0406 相互授業参観、常時授業公開を行っている[4b-3]
留意点
*各項目に留意点レベルを記入
[A]・・・緊急の改善を要する事項
[B]・・・検討を要する事項
特になし

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分
P4b-1	レポートルーブリック	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料

●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする

△：現部署で保管

2024 年度 (対象年度 2021~2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 創造的リベラルアーツセンター

基準 6 教員・教員組織

I. 課題事項等への対応状況

直近の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0605	初代センター長の後継体制
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
2024 年 4 月副センター長をセンター長とし、また専任教員から新たに副センター長を任じた[6-1]。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んでいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0601	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を安定的にかつ十全に展開できる教員組織を編制し、学習成果の達成につながる教育の実現や大学として目指す研究上の成果につなげていること。	自己評価	S
評価の視点	<p>(1)大学として求める教員像や教員組織の編制方針に基づき、教員組織を編制しているか。 ※具体的な例 ・教員が担う責任の明確性。 ・法令で必要とされる数の充足。 ・科目適合性を含め、学習成果の達成につながる教育や研究等の実施に適った教員構成。 ・各教員の担当授業科目、担当授業時間の適切な把握・管理。 ・複数学部等の基幹教員を兼ねる者について、業務状況や教育効果の面での適切性。</p> <p>(2)クロスアポイントメントなどによって、他大学または企業等の人材を教員として任用する場合は、教員の業務範囲を明確に定め、また、業務状況を適切に把握しているか。</p> <p>(3)教員は職員と役割分担し、それぞれの責任を明確にしながら協働・連携することで、組織的かつ効果的な教育研究活動を実現しているか。</p> <p>(4)授業において指導補助者に補助または授業の一部を担当させる場合、あらかじめ責任関係や役割を規程等に定め、明確な指導計画のもとで適任者にそれを行わせているか。</p>			
現状説明	2024 年度の「リベラルアーツ課題演習」正式開講に向け、組織の充実を図り学生の学習効果を高めるため、文系・理系にまたがる専任 4 名、ほぼ全学部から兼任 6 名、協力教員 6 名の体制を整えた[6-2]。			

自己点検・評価項目	0602	教員の募集、採用、昇任等を適切に行っていること。	自己評価	S
評価の視点	(1)教員の募集、採用、昇任等に関わる明確な基準および手続きに沿い、公正性に配慮しながら人事を行っているか。 (2)年齢構成に著しい偏りが生じないように人事を行っているか。また、性別など教員の多様性に配慮しているか。			
現状説明				
協力教員の授業担当配置に関しては、科学系、人文系、社会系に授業を分け、それぞれの専門の教員と専門外の教員がペアになるように授業担当を決めている[6-3]。				

自己点検・評価項目	0603	教育研究活動等の改善・向上、活性化につながる取り組みを組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上につなげていること。	自己評価	S
評価の視点	(1)教員の教育能力の向上、教育課程や授業方法の開発および改善につなげる組織的な取り組みを行い、成果を得ているか。 (2)教員の研究活動や社会貢献等の諸活動の活性化や資質向上を図るために、組織的な取り組みを行い、成果を得ているか。 (4)教員以外が指導補助者となって教育に関わる場合、必要な研修を行い、授業の運営等が適切になされるよう図っているか。			
現状説明				
2023年11月8日にFD活動の一環として「中部地区におけるリベラルアーツ教育の現状と課題」というテーマで勉強会・討論会を実施し、外部からも発表者を招いて、教員の意識と資質の向上を図った[6-4]。				

自己点検・評価項目	0604	教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	A
評価の視点	(1)教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。 (2)点検・評価の結果を活用して、教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。			
現状説明				
組織メンバーに変化があるたびに運営会議において報告、承認を得ている[6-5] [6-6] [6-7]。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色	《箇条書き》
項目 No. 0603	FD研究会の実施[6-4]

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項	《箇条書き》
項目 No. 0601	専任教員の増員
今後の改善・向上方策	
協力教員の中で特にリベラルアーツ教育に熱心な教員から、あと1名ほど本センター専任になることができないか可能性を探っていく。	

2024 年度 (対象年度 2021~2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 創造的リベラルアーツセンター

基準 7 学生支援

I. 課題事項等への対応状況

直近の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0703	2024 年度「リベラルアーツ教育科目」正式開講に向けた取り組み、専任教員 2 名の増加
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
2024 年度「リベラルアーツ教育科目」正式開講に向け学生のニーズに合わせた教育体制を整えるべく、2023 年度中に文系と理系専任教員を移籍により補強することができた[7-1]。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んでいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の 4 段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0701	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備し、適切に実施していること。	自己評価	S
評価の視点	<p>(4) [修学支援 (学習面)] 学生が能力に応じて自律的に学習を進められるようサポートする仕組みを整備しているか (補習教育、補充教育、学習に関わる相談等)。</p> <p>(5) [修学支援 (学習面)] 障がいのある学生や留学生の実態に応じ、それらの学生に対する修学支援を行っているか。</p> <p>(6) [修学支援 (学習面)] 学習の継続に困難を抱える学生 (留年者、退学希望者等) に対し、その実態に応じて対応しているか。</p> <p>(8) [修学支援 (学習面)] ICT を利用した遠隔授業を行う場合にあっては、自宅等の個々の場所で学習する学生からの相談に対応するなどの学習支援を行っているか。また、学生の通信環境へ配慮した対応 (授業動画の再視聴機会の確保等) を必要に応じて行っているか。</p> <p>(14) [学生の基本的人権の保障] ハラスメント防止、プライバシー権の保障や苦情申立への対応など、学生の基本的人権の保障を図る取り組みを行っているか。</p>			
現状説明	2024 年 4 月の授業正式開講に合わせ、パンフレットを作成し、教員紹介や授業案内を掲載して、センターの活動やリベラルアーツ授業の特徴をどんな学生でも理解しやすいようにした[7-2]。			

自己点検・評価項目	0702	学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	C
-----------	------	---	------	---

評価の視点	(1)学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。 (2)点検・評価の結果を活用して、学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。
現状説明	学生支援に関する事項の点検はまだ行えていないため、今後は運営会議において行って行くことを目指す。

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No. 0701	パンフレットの作成[7-2]

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0702	学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価する。
今後の改善・向上方策	
今後は、定期的に学生支援に取り組み、それを評価点検して、より良い学生支援に生かしていく。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	パンフレット等、リベラルアーツ授業の特徴を学生に理解しやすいようにしている。学生支援については、現在のところまだ点検されていないところで、具体的にどのように支援をするかその方針・計画を立てていくことが望まれる。	
長所・特色		
特になし		
留意点	*各項目に留意点レベルを記入 [A]・・・緊急の改善を要する事項 [B]・・・検討を要する事項	
	学生支援については、現在のところまだ点検されていないところで、具体的にどのように支援をするかその方針・計画を立てていくことが望まれる [B]。	

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出区分
	なし	

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料

●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする

△：現部署で保管

2024 年度 (対象年度 2021~2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 創造的リベラルアーツセンター

基準 8 教育研究等環境

I. 課題事項等への対応状況

直近の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 0806	さらなる関連図書の充実
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
2023 年度も 2021 年度と同様に、リベラルアーツに特化した関連図書の購入・整備を行うことができた[8-1]。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0804	教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	S
評価の視点	(1)教育研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。 (2)点検・評価の結果を活用して、教育研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。			
現状説明	リベラルアーツ関連図書を継続的に購入して創造的リベラルアーツセンター会議室（旧センター長室）に保管し、関係教員のFDに利用している[8-1]。 運営会議において、各授業担当者が、授業について報告しあっている[8-2]。			

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色	《箇条書き》
項目 No. 0804	リベラルアーツに特化した関連図書の購入と整備[8-1]

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0804	運営会議における授業報告
今後の改善・向上方策	
授業の報告にとどまらず、課題を把握・共有しさらなる教育研究授業や組織改善に結びつくようにする	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評
リベラルアーツに特化した関連図書の購入・整備を行い、関係教員のFDに利用しているなどの取り組みがされているが、その利用率や図書分野の傾向など今後数値化されることを期待する[8-1]。
長所・特色
特になし
留意点
*各項目に留意点レベルを記入
[A]・・・緊急の改善を要する事項
[B]・・・検討を要する事項
特になし

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分
P8-1	HP アドレス	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
△：現部署で保管

2024 年度 (対象年度 2021~2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 創造的リベラルアーツセンター

基準 9 社会連携・社会貢献

I. 課題事項等への対応状況

直近の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No.	
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
基準 9 は、以前に作成していないため、転記すべき資料はない。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の4段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	0901	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していること。また、教育研究成果を適切に社会に還元していること。	自己評価	S
評価の視点	(1)社会連携・社会貢献に関する方針のもと、学外機関、地域社会等との連携、大学が生み出す知識、技術等を社会に還元する取り組みを行っているか。 (2)社会連携・社会貢献に関する取り組みにより、地域や社会の課題解決等に貢献し、大学の存在価値を高めることにつながっているか。			
現状説明				
2023 年 11 月 8 日に FD 研究会を開催した際に、近隣二大学の関係者の合意が得られ、「中部地区リベラルアーツ教育研究コンソーシアム」が発足した[9-1]。 2023 年 6 月 10 日に第 3 回オンラインシンポジウム「リベラルアーツと民主主義」を開催し学内外から 200 名強の参加を得た。学外参加者は、大学関係、教育関係者、学生、一般社会人など多岐にわたった[9-2]。				

自己点検・評価項目	0902	社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し、改善・向上に向けて取り組んでいること。	自己評価	C
評価の視点	(1)社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し、当該事項における現状や成果が上がっている取り組みおよび課題を適切に把握しているか。 (2)点検・評価の結果を活用して、社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み、効果的な取り組みへとつなげているか。			
現状説明				
今年度はじめて取り組む基準のため、定期的な社会貢献に関する自己点検・評価はまだ行えていない。				

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色 《箇条書き》	
項目 No. 0901	中部地区リベラルアーツ教育研究コンソーシアムの発足[9-1]
項目 No. 0901	オンライン公開シンポジウム第3回「リベラルアーツと民主主義」の開催[9-2]

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

課題事項 《箇条書き》	
項目 No. 0902	社会貢献の継続とその自己評価
今後の改善・向上方策	
今後、「中部地区リベラルアーツ教育研究コンソーシアム」の活動などの社会貢献を進め、その評価・点検、改善を継続的に行う。	

《以下はピアレビュー委員が記入します》

Ⅲ. ピアレビュー結果

総評	
レビューなし	
長所・特色	
留意点	
*各項目に留意点レベルを記入	
[A]	・・・緊急の改善を要する事項
[B]	・・・検討を要する事項

根拠資料 No.	ピアレビューにより追加された根拠資料の名称	提出 区分

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
△：現部署で保管

2024 年度 (対象年度 2021~2023 年度) 自己点検・評価シート

自己評価組織 創造的リベラルアーツセンター

基準 11 大学独自の評価項目

I. 課題事項等への対応状況

直近の「自己点検・評価シート」の課題事項、ピアレビュー結果（留意点）を転記し、改善・向上への取り組みおよび進捗状況を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 課題事項	<input type="checkbox"/> ピアレビュー結果（留意点）
項目 No. 1120	運営会議開催形式のさらなる検討
改善・向上への取り組みおよび進捗状況 *成果の有無を問わない	
コロナ禍が明けた 2023 年度もオンラインによる運営会議が中心となったが、年 2 回自由参加で対面での懇親会を行うことができ、組織内の意思疎通は十分に取れた[11-1 p. 11]。	

II. 自己点検・評価

1. 現状説明と自己評価

「自己評価」欄に「S：高い水準で取り組んでおり、その取り組みが他の模範となりうる」「A：概ね取り組んでいるが、若干改善の余地がある」「B：取り組んではいるが、改善すべき点が多い」「C：今後取り組んでいく」の 4 段階で、対象年度における自己評価を記入してください。

「現状説明」欄に、それぞれの「自己点検・評価項目」について、対象年度における実施状況を「評価の視点」も踏まえて記入してください。

自己点検・評価項目	1121	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っているか。	自己評価	A
評価の視点	(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続は、適切に行っているか。			
現状説明	2023 年度は基本的にオンラインで、また時にメール審議も適宜混ぜて、センター運営会議を計 8 回開催し、その都度議事録を作成して全構成員に配布・確認している[11-1]。			

2. 長所・特色

各項目の「現状説明」の中で「先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の模範となるもの」を記入してください。

長所・特色	《箇条書き》
項目 No. 1121	開催形式の弾力的運用[11-1]

3. 課題事項と今後の改善・向上方策

各項目の「現状説明」の中で「改善すべき点、向上すべき点」など、課題として認識した事項や、更なる向上を目指す事項について、現時点での改善・向上への取り組み（予定）および進捗状況を記入してください。

2024年度 自己点検・評価シート 根拠資料一覧

組織名	創造的リベラルアーツセンター
-----	----------------

基準 (シートNo.)	根拠資料 No.	根拠資料の名称	提出区分
2. 内部質保証 (NF2)	2-1	2023年度創造的リベラルアーツセンター運営会議議事録	○
	2-2	2022年度創造的リベラルアーツセンター運営会議議事録	○
4. 教育・学習(4a) (NF4a)	4a-1	2024年度創造的リベラルアーツセンター授業計画案	○
	4a-2	2023年度シラバス (リベラルアーツパイロット授業「日本語スキルB」)	○
4. 教育・学習(4b) (NF4b)	4b-1	2023年度シラバス (リベラルアーツパイロット授業「教育をみつめて 芸術と社会」)	○
	4b-2	2023 年度公開ループリック (「教育をみつめて 芸術と社会」)	○
	4b-3	2023年度パイロット授業時間割および教室	○
6. 教員・教員組織 (NF6)	6-1	2024年度調整企画会議メンバー表	○
	6-2	2023、2024年度教員構成表	○
	6-3	2024年度創造的リベラルアーツセンター授業計画案	○
	6-4	2023年度第7回運営会議議事録：FD研究会報告	○
	6-5	2024年度運営会議メンバー表	○
	6-6	2023年度創造的リベラルアーツセンター運営会議議事録	○
	6-7	2022年度創造的リベラルアーツセンター運営会議議事録	○
7. 学生支援 (NF7)	7-1	2024年度創造的リベラルアーツセンター教員構成表	○
	7-2	2024年度配布予定パンフレット表紙	○
8. 教育研究等環境 (NF8)	8-1	2023年度創造的リベラルアーツセンター図書購入リスト	○
	8-2	2022年度第4回運営会議議事録：授業報告	○
9. 社会連携・社会貢献 (NF9)	9-1	2023年度中部地区リベラルアーツ教育研究コンソーシアム申し合わせ	○
	9-2	2023年6月第3回シンポジウム「リベラルアーツと民主主義」ポスター	○
11. 大学独自の評価項目 (NF11)	11-1	2023年度創造的リベラルアーツセンター運営会議議事録	○

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料
 ●：提出するが評価者以外の閲覧を不可とする
 △：現部署で保管